

3

A long time ago, there lived an old man and an old woman.

Their household was very poor, and although it was New Year's Eve, they did not have any rice to make rice cakes.

The two gathered all the materials at their house, and made five woven hats of straw.

"I will sell these straw hats in the town and buy some fish and rice."

"Please, take care."

The old man carried five straw hats, wore shoes made of straws and left the house to the town through snowy paths.





5

The town was very lively and crowded,

“Straw hats! Straw hats! Does anyone want a straw hat?”

The old man shouted as loud as he could, and walked around the town. However, not a single hat was sold.

“Sigh... There is no one here to buy straw hats. If I go back home without bringing back anything, my wife is going to be sad...”

He was very depressed and slowly walked back to his home.





むかし むかし、あるところに、  
おじいさんと おばあさんが すんでいました。  
ふたりの いえは まずしく、  
あしたは もう がんじつ だというのに、  
おもちを つくる こめも ありませんでした。

そこで ふたりは、いえに あった ざいりょうを  
かきあつめて、なんとか  
『あみがさ』を いつつ つくりました。

「これを まちで うって、  
こめと さかなを かってくるよ」  
「いってらっしゃい、おじいさん」

おじいさんは あみがさを せおい、  
わらぐつを はくと、ゆきの つもった  
やまみちを こえて、まちへと むかいました。





おおみそかの まちは、  
とても にぎわいでいました。

「かさー！かさー！あみがさは いらんかねー！」

おじいさんは こえを はりあげて、  
まちじゅうを あるきまわりました が、  
そのひ あみがさは、  
ひとつも うれませんでした。

「はあ・・・としこしの ひに、  
こんな めずらしくもない かさを かうものは  
いないか。なにも かわずに かえったら、  
ばあさんは がっかりするだろうな・・・」

おじいさんは かたを おとして、  
おもいあしどりで、いえに かえっていきました。

